

IR資料

【2025年3月期 第3四半期決算補足説明資料】

矢作建設工業株式会社 証券コード1870（東証プライム・名証プレミア）

I

2025年3月期第3四半期決算

■ 売上高

売上高は971億円と前期比62億円の増収となり、第3四半期として3期連続で過去最高を更新

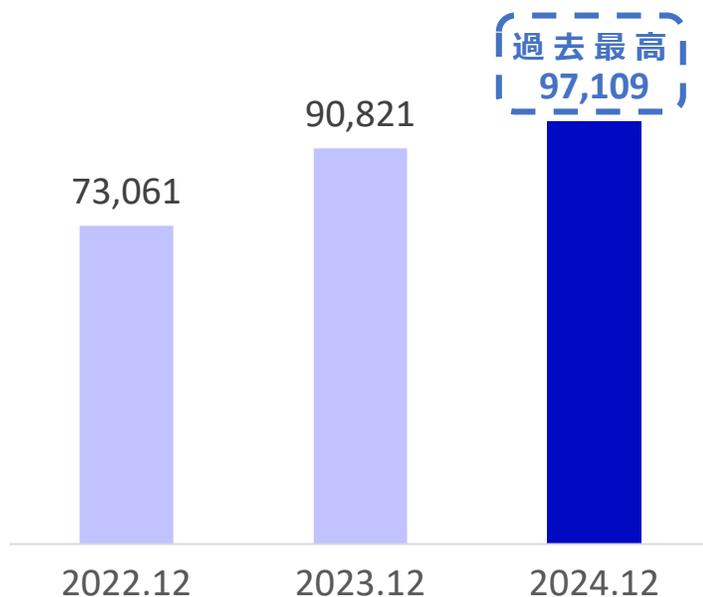
■ 利益

前期に計上された大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクト1号宅地）売却の影響から不動産事業が減益となったことで、営業利益は33億円と前期比57億円の減益、四半期純利益は23億円と前期比39億円の減益

※下期に予定していた大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクト2号宅地）の売却について、2025年1月31日付で売買契約を締結し、同時に建築工事の契約も終わっております

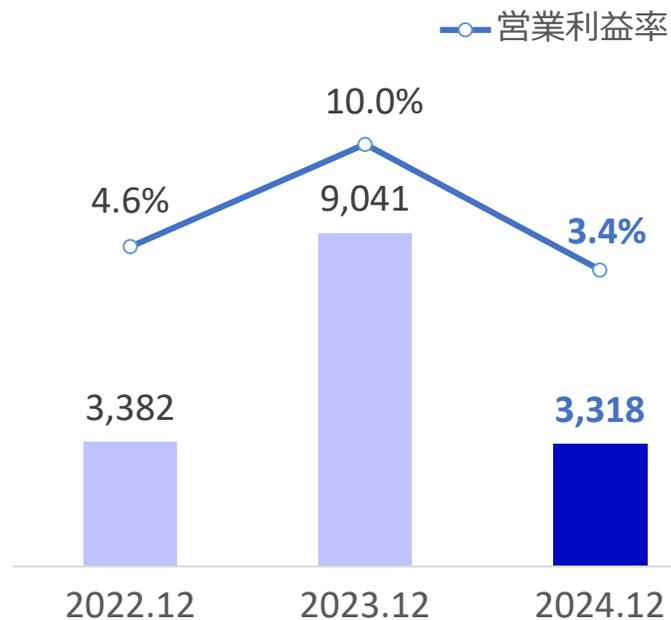
売上高（百万円）

前期比**62**億円増（**6.9%**増）



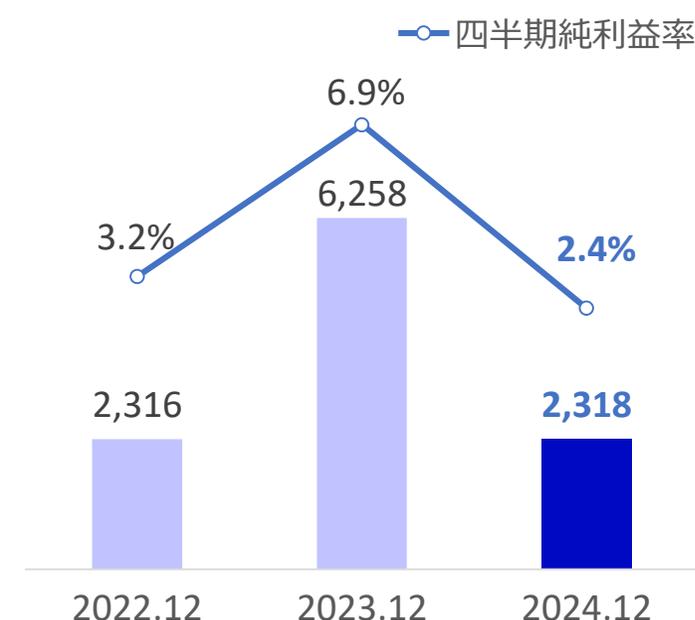
営業利益（百万円）

前期比**57**億円減（**63.3%**減）



四半期純利益（百万円）

前期比**39**億円減（**62.9%**減）



【ご参考】前期までの過去最高値：2024年3月期第3四半期 90,821百万円

2025年3月期第3四半期決算概要

(単位：百万円)

	2022.12	2023.12	2024.12	前期比	
	実績	実績	実績	増減額	増減率
売上高	73,061	90,821	97,109	6,287	6.9%
完成工事高	65,351	68,976	86,088	17,112	24.8%
不動産事業等売上高	7,710	21,845	11,020	▲10,824	▲49.6%
売上総利益	9,861	16,956	11,046	▲5,909	▲34.9%
(売上総利益率)	(13.5%)	(18.7%)	(11.4%)		▲7.3pt
完成工事総利益	7,314	7,085	7,490	404	5.7%
不動産事業等総利益	2,547	9,870	3,556	▲6,314	▲64.0%
販売費及び一般管理費	6,479	7,915	7,727	▲187	▲2.4%
営業利益	3,382	9,041	3,318	▲5,722	▲63.3%
(営業利益率)	(4.6%)	(10.0%)	(3.4%)		▲6.6pt
経常利益	3,448	9,155	3,374	▲5,781	▲63.1%
(経常利益率)	(4.7%)	(10.1%)	(3.5%)		▲6.6pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,316	6,258	2,318	▲3,939	▲62.9%
(四半期純利益率)	(3.2%)	(6.9%)	(2.4%)		▲4.5pt

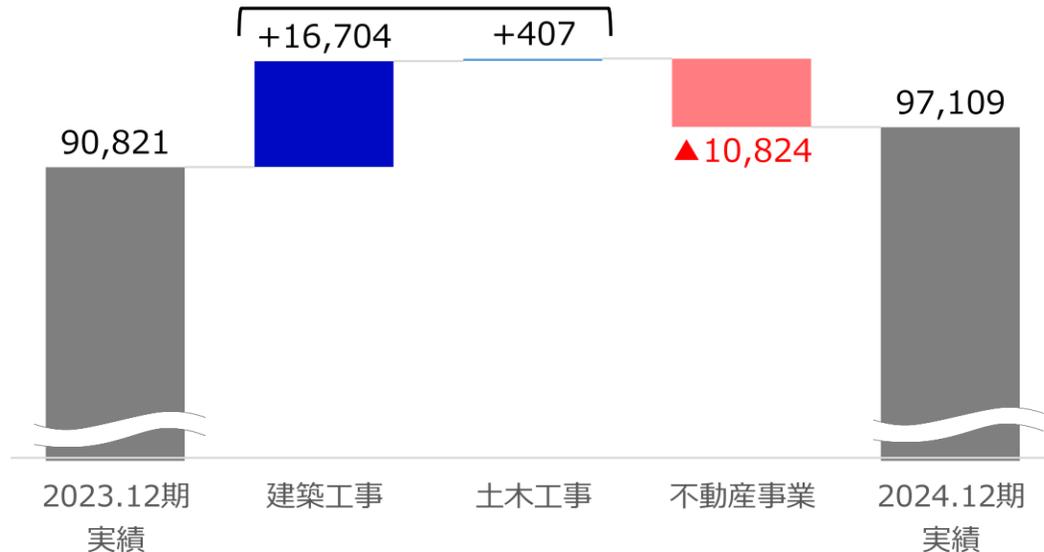
売上高・営業利益増減要因（対前期実績）

- 売上高・・・前期比62億円の増収となり、前年同期に引き続き過去最高を更新
 - 建設事業：大型物流施設工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比171億円の大幅増収
 - 不動産事業：前期に計上された大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクト1号宅地）売却の影響から、前期比108億円の減収
- 利益・・・営業利益は前期比57億円の減益
 - 建設事業：増収効果により、前期比4億円の増益
 - 不動産事業：売上高同様、前期に計上された大府東海開発プロジェクト1号宅地売却の影響から、前期比63億円の減益
 - 販管費：給与水準引き上げなどの人財投資の増加があった一方、販売費の圧縮などにより、前期比1億円の減少

売上高（百万円）

対前期**6,287**百万円増

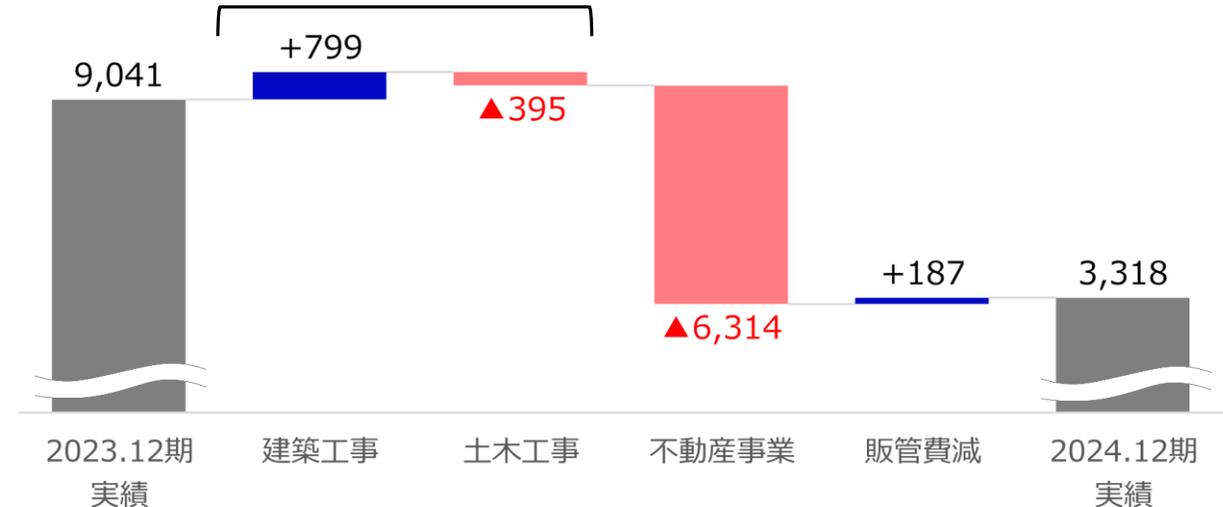
建設事業+17,112



営業利益（百万円）

対前期**5,722**百万円減

建設事業+404



〈セグメント別概況〉 建築事業

■ 受注高

大型物流施設を中心に複数の大型工事を受注するなど当期の受注は好調であったものの、過去最大規模の建築工事を受注した前期には及ばず、前期比25億円の減少

■ 売上高

大型物流施設工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比167億円の大幅増収

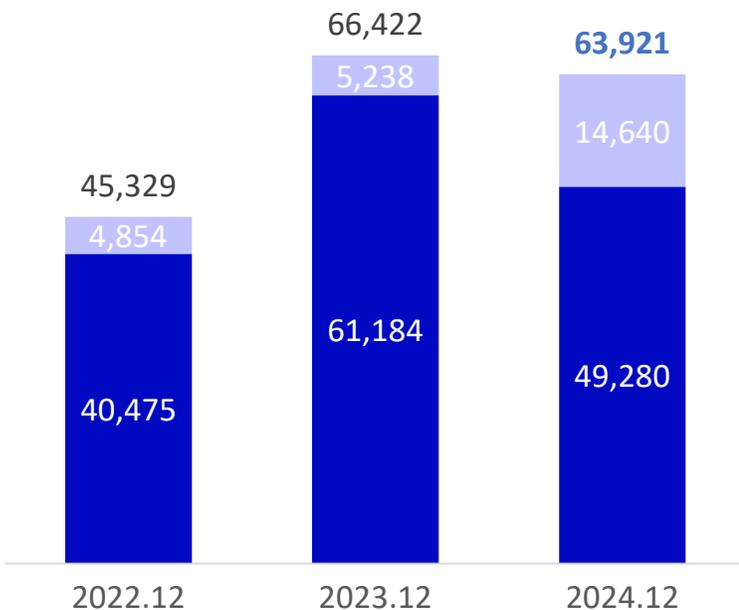
■ 売上総利益

増収効果により、前期比7億円の増益

用途別受注高 (百万円)

前期比**25**億円減 (**3.8%**減) ↘

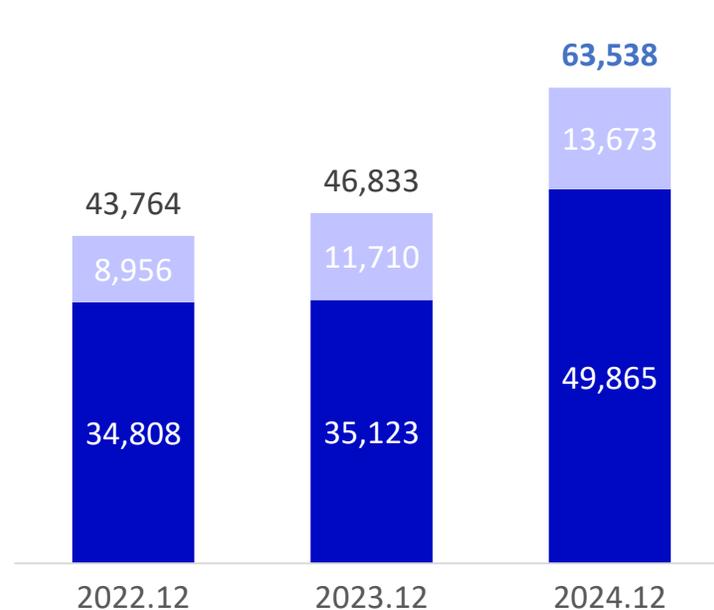
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



用途別売上高 (百万円)

前期比**167**億円増 (**35.7%**増) ↗

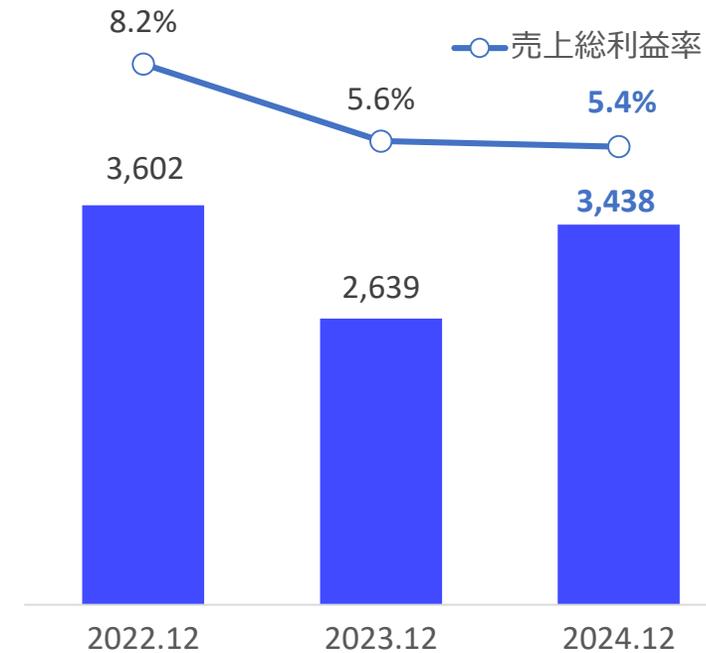
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



売上総利益 (百万円)

前期比**7**億円増 (**30.3%**増) ↗

○ 売上総利益率



〈セグメント別概況〉 土木事業

■ 受注高

官庁工事、民間工事ともに受注が好調であったことから、前期比121億円の大幅増加

■ 売上高

官庁工事、民間工事ともに施工が順調に進捗し、前期比4億円の増収

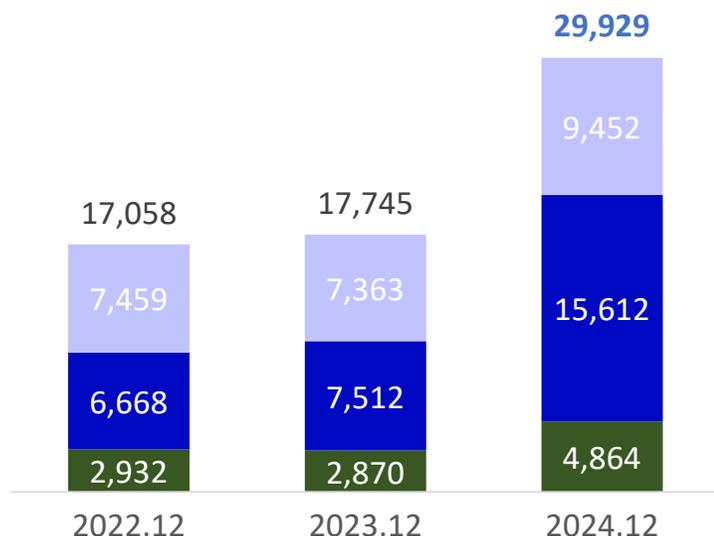
■ 売上総利益

前期に一部大型工事の完成時の大幅な変更増額による利益の獲得があった影響もあり、前期比3億円の減益

用途別受注高（百万円）

前期比**121億円増（68.7%増）**

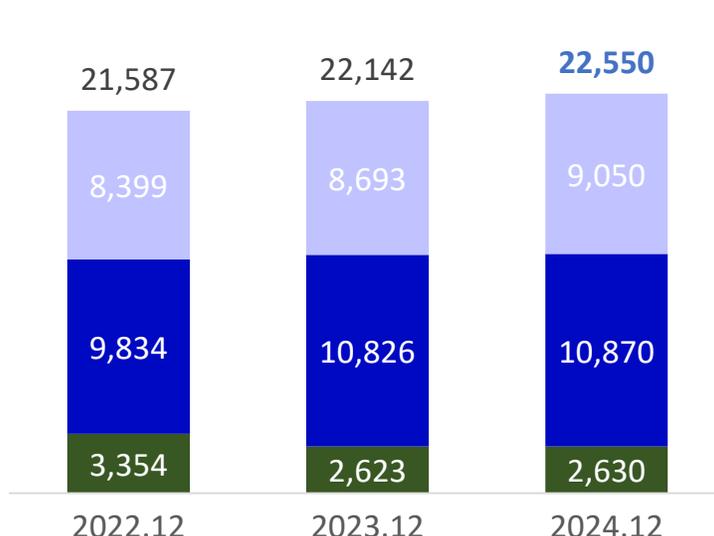
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



用途別売上高（百万円）

前期比**4億円増（1.8%増）**

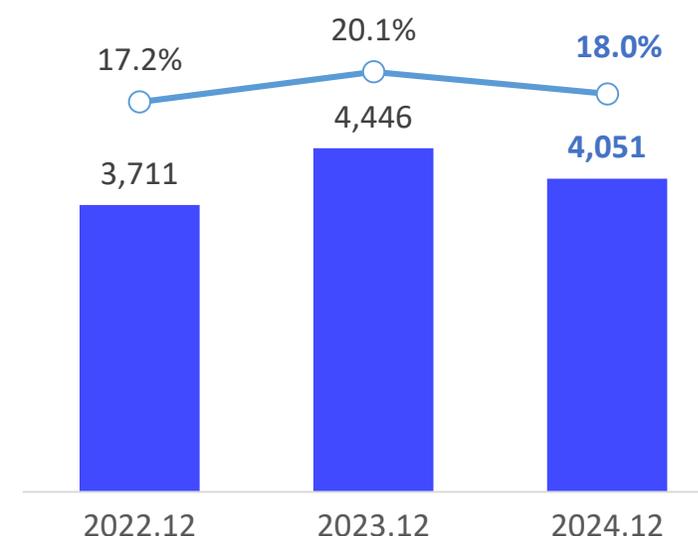
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



売上総利益（百万円）

前期比**3億円減（8.9%減）**

○ 売上総利益率



※ PW工事：当社独自技術である地山補強土工法の「パンウォール工法」による工事

〈セグメント別概況〉 不動産事業

■ 売上高

前期に計上された大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクト1号宅地）売却の影響から、前期比108億円の減収

■ 売上総利益

売上高同様、前期に計上された大府東海開発プロジェクト1号宅地売却の影響から、前期比63億円の減益

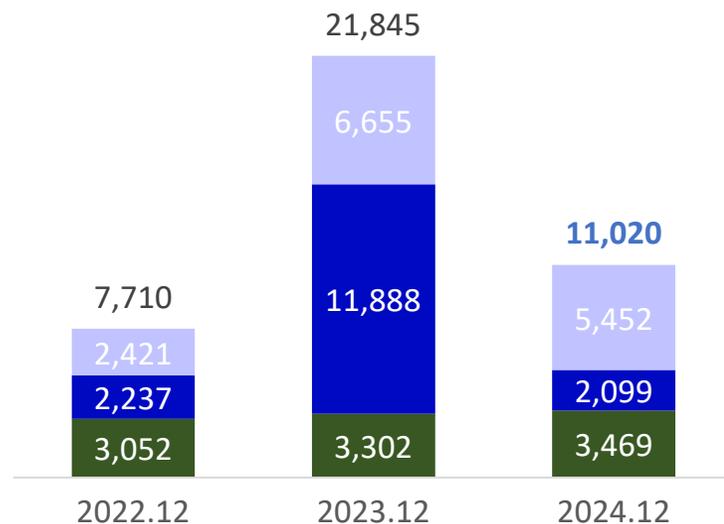
■ 分譲マンション事業

新規物件の完成引渡があったものの、前期の販売戸数には及ばず、前期比8戸の減少

売上高内訳（百万円）

前期比**108億円減（49.6%減）** 📉

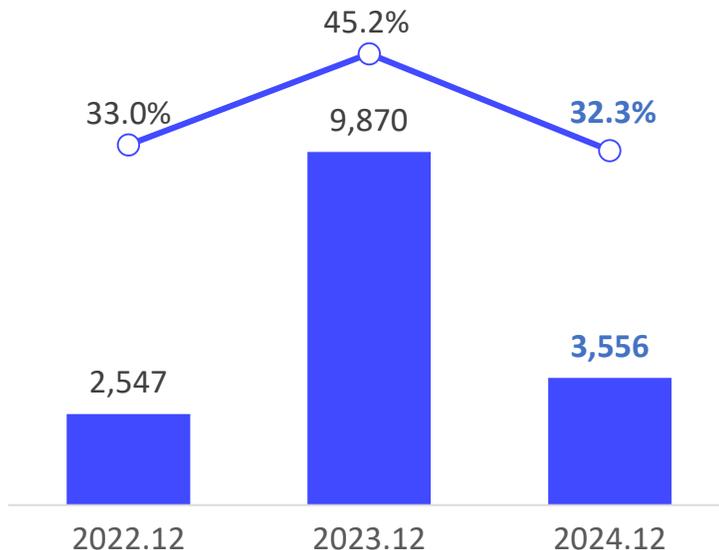
■ 分譲マンション事業 ■ 不動産販売 ■ その他



売上総利益（百万円）

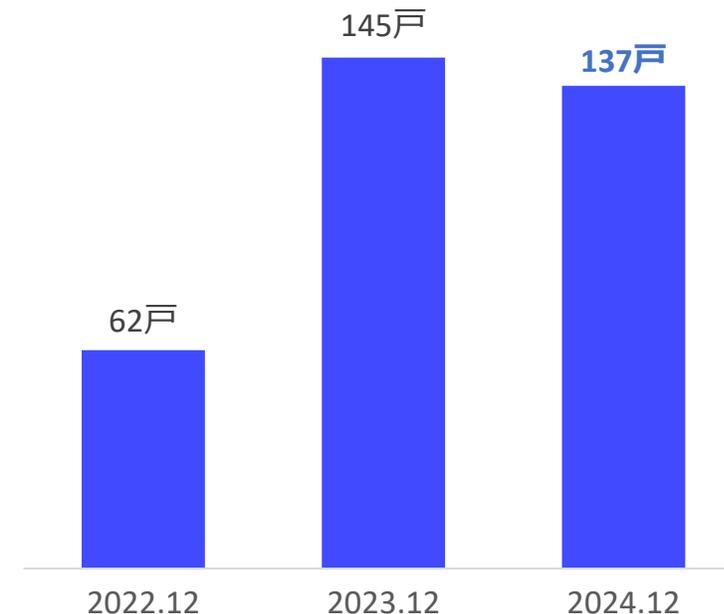
前期比**63億円減（64.0%減）** 📉

○ 売上総利益率



分譲マンション販売戸数（戸）

前期比**8戸減（5.5%減）** 📉



※その他には、賃貸事業・流通事業・建築事業に含まれない子会社の事業等を含む。

- **総資産**：手元資金の保有水準を見直したことにより現金預金が減少した一方、大型物流施設工事の施工が進捗したことにより売上債権が増加し、総資産は126億円の増加
- **負債**：法人税の支払いなどによりその他流動負債が減少した一方、大型物流施設工事など施工進捗に伴う協力業者への支払いを借入金で賄ったことで有利子負債が増加し、負債合計は134億円の増加
- **純資産**：利益剰余金の計上があった一方、配当金の支払いにより、純資産は7億円の減少

□ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		2024.3 実績	2024.12 実績	増減
流動資産	現金預金	19,987	16,708	▲3,279
	売上債権	39,657	49,620	9,962
	未成工事支出金	3,251	3,084	▲167
	販売用不動産	21,016	23,600	2,584
	その他	3,997	8,641	4,644
	計	87,910	101,654	13,744
固定資産	有形固定資産	27,148	26,830	▲318
	無形固定資産	728	717	▲10
	投資その他の資産	10,213	9,479	▲734
	計	38,090	37,027	▲1,062

負債の部		2024.3 実績	2024.12 実績	増減
流動負債	仕入債務	11,112	12,580	1,467
	短期借入金	14,100	28,200	14,100
	未成工事受入金	8,853	8,055	▲797
	その他	9,642	4,071	▲5,571
	計	43,708	52,907	9,198
固定負債	長期借入金	8,300	12,400	4,100
	その他	7,453	7,582	129
計	15,753	19,982	4,228	
負債合計		59,461	72,889	13,427
純資産		66,538	65,792	▲745

資産合計	126,000	138,682	12,681
------	---------	---------	--------

負債・純資産合計	126,000	138,682	12,681
----------	---------	---------	--------

□主要経営指標

	2021.3実績	2022.3実績	2023.3実績	2024.3実績	2023.12実績	(単位：百万円) 2024.12実績
総資産経常利益率（ROA）	6.3%	5.0%	5.9%	7.5%	—	—
自己資本当期純利益率（ROE）	6.2%	8.6%	7.6%	10.2%	—	—
1株当たり当期純利益（EPS）	75.86円	112.18円	104.83円	150.23円	—	—
自己資本比率	42.1%	49.4%	46.5%	52.8%	50.5%	47.4%
有利子負債	42,940	30,400	31,900	22,400	17,400	40,600
NET有利子負債（※）	20,848	8,388	9,078	2,413	▲ 3,500	23,892

（※）NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金預金

■ 受注高

土木工事において官庁工事、民間工事ともに受注が好調であったことに加え、建築工事においても複数の大型工事を受注したことから、前期比96億円の大幅増加となり、第3四半期として2期連続で過去最高を更新

■ 次期繰越高

当期の受注高が大きく増加したことで、今後の売上高に寄与する次期繰越高は1,459億円と前期比313億円の大幅増加となり、第3四半期として2期連続で過去最高を更新

□ 受注高

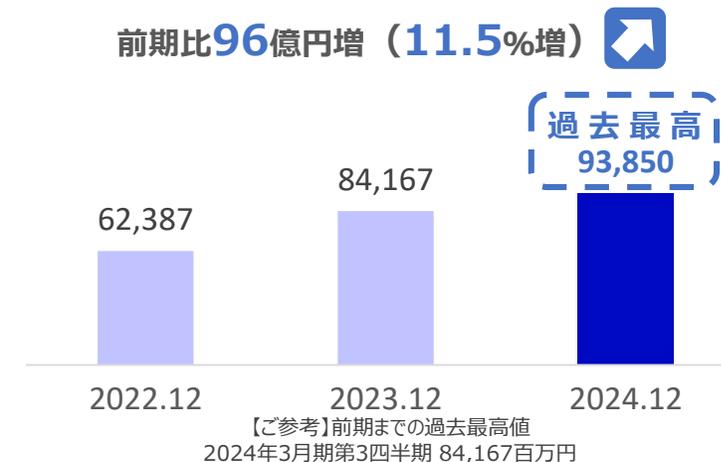
	2022.12 実績	2023.12 実績	2024.12 実績	(単位：百万円) 前期比	
				増減額	増減率
建築工事	45,329	66,422	63,921	▲2,500	▲3.8%
土木工事	17,058	17,745	29,929	12,184	68.7%
合計	62,387	84,167	93,850	9,683	11.5%

□ 次期繰越高

	2022.12 実績	2023.12 実績	2024.12 実績	(単位：百万円) 前期比	
				増減額	増減率
建築工事	63,629	86,218	103,554	17,336	20.1%
土木工事	23,734	28,415	42,385	13,969	49.2%
合計	87,364	114,634	145,939	31,305	27.3%

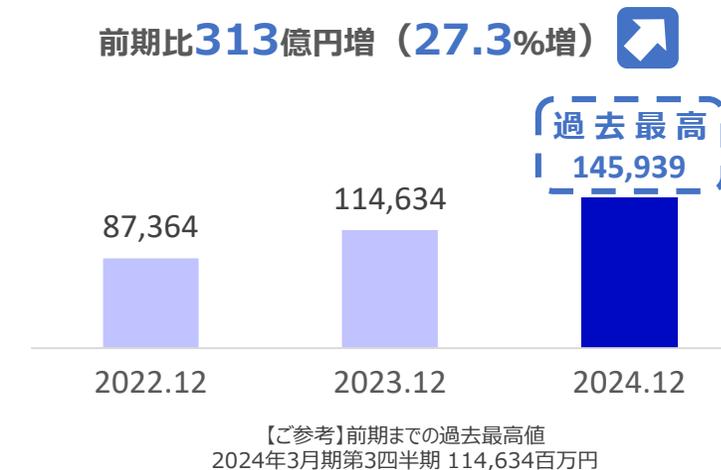
受注高 (百万円)

前期比**96億円増 (11.5%増)**



次期繰越高 (百万円)

前期比**313億円増 (27.3%増)**



Ⅱ

2025年3月期通期業績予想

2025年3月期通期予想について

2025年3月期の通期予想は、売上高1,400億円（前期比200億円増）【過去最高】、営業利益82億円（前期比13億円減）、当期純利益54億円（前期比10億円減）の増収減益を見込む

※ 中間期実績は予想を上回ったが、通期予想は、2024年5月9日の公表数値を据え置いている。
 なお、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示を予定。

■ 売上高

建設事業が増収となることにより、売上高全体では前期に引き続き、過去最高となる見込み

■ 利益

建設事業は増益となる一方、不動産事業において下半期に大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクト2号宅地）の売却があるものの（※）、前期ほどの規模には至らず減益となり、各利益段階で前期実績を下回る見込み

※大府東海開発プロジェクト2号宅地の売却について、2025年1月31日付で売買契約を締結し、同時に建築工事の契約も終わっております

□ 2025年3月期連結予想

（単位：百万円）

	2024.3 実績	2025.3 通期予想	増減額	前期比 増減率
売上高	119,824	140,000	20,175	16.8%
完成工事高	96,230	119,000	22,770	23.7%
不動産事業等売上高	23,594	21,000	▲2,594	▲11.0%
売上総利益	19,797	18,900	▲897	▲4.5%
(売上総利益率)	(16.5%)	(13.5%)		▲3.0pt
完成工事総利益	9,584	10,600	1,016	10.6%
不動産事業等総利益	10,212	8,300	▲1,912	▲18.7%
販売費及び一般管理費	10,282	10,700	418	4.1%
営業利益	9,514	8,200	▲1,314	▲13.8%
(営業利益率)	(7.9%)	(5.9%)		▲2.0pt
経常利益	9,588	8,200	▲1,388	▲14.5%
(経常利益率)	(8.0%)	(5.9%)		▲2.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,462	5,400	▲1,062	▲16.4%
(当期純利益率)	(5.4%)	(3.9%)		▲1.5pt

売上高・営業利益増減要因（対2024.3期実績）

■ 売上高

建設事業：前期に受注した過去最大規模の建築工事の施工が進捗することなどにより、前期実績を上回る見込み

不動産事業：当期においても大府東海開発プロジェクト2号宅地の売却があるものの、前期に売却した大府東海開発プロジェクト1号宅地の規模には及ばず、前期実績を下回る見込み

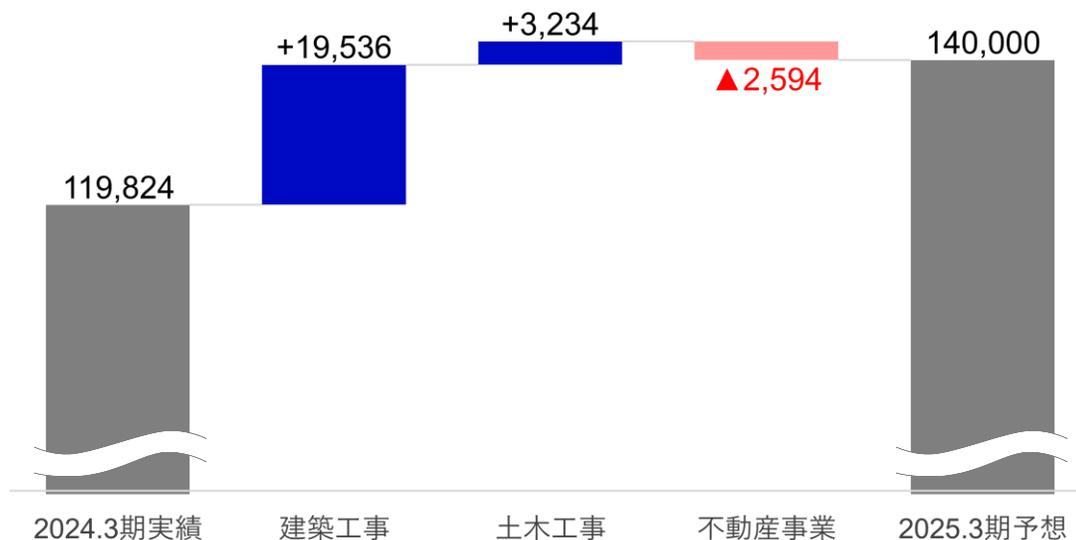
■ 利益

建設事業：増収効果により、前期実績を上回る見込み

不動産事業：減収の影響により、前期実績を下回る見込み

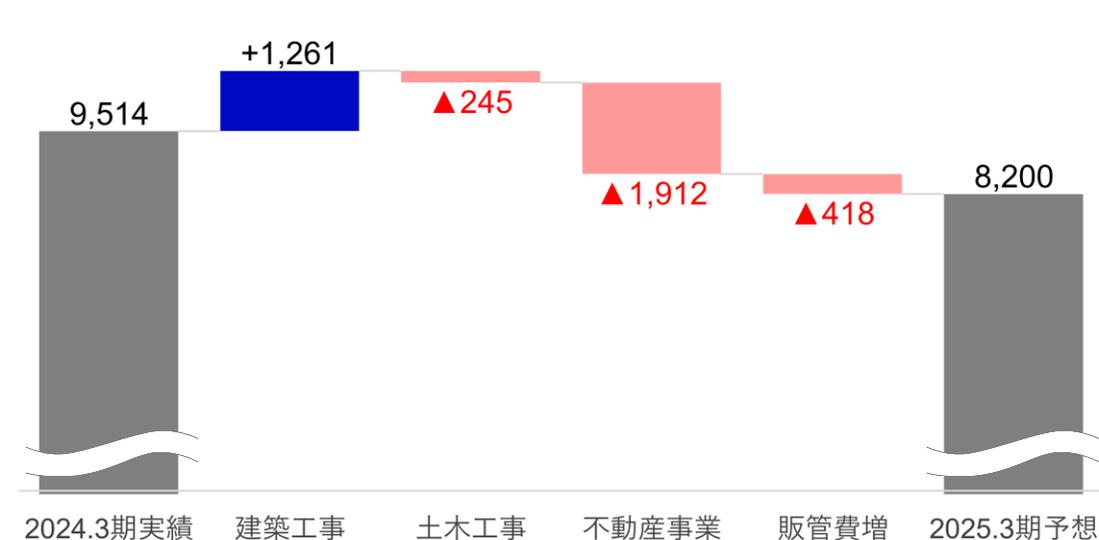
売上高（百万円）

対前期 **20,175**百万円増



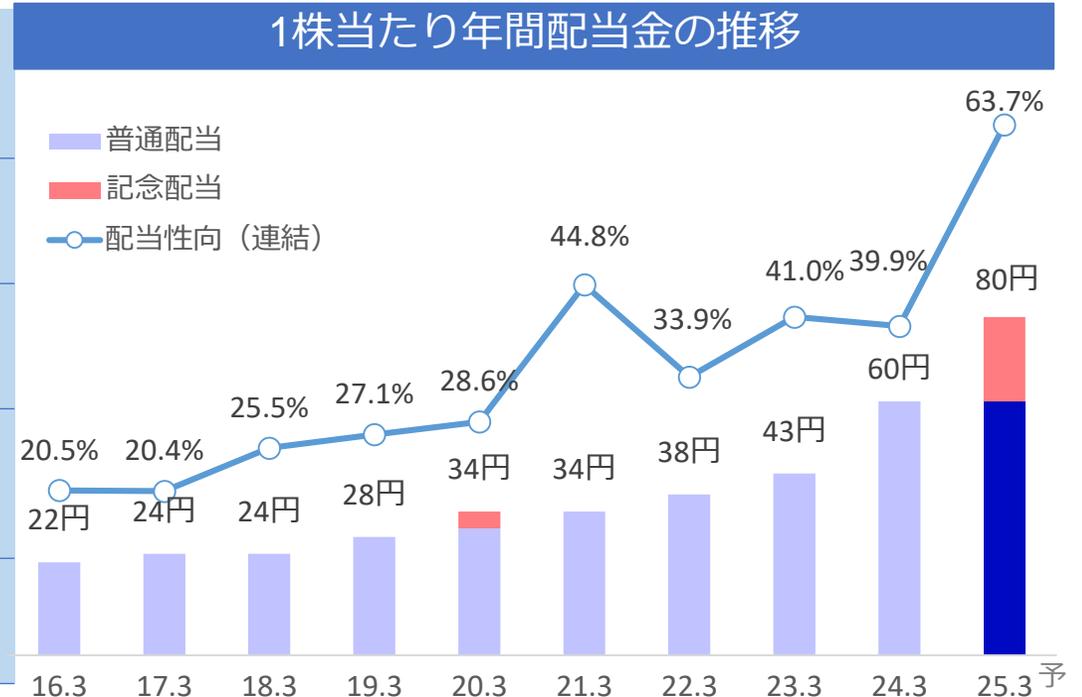
営業利益（百万円）

対前期 **1,314**百万円減



- 2025年3月期の配当は、実施済みの中間配当金40円（普通配当30円、創立75周年記念配当10円）に加え、期末配当金も公表値どおり40円（同上）を予定しており、年間の配当金は80円とする予定
- 4期連続で増配（12期連続で減配なし）予定
- 配当性向は、中期経営計画の配当方針「30%以上」を上回る水準で推移

	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
中間配当金	16円	17円	17円	19円	30円	40円
期末配当金	18円	17円	21円	24円	30円	40円（予想）
年間配当金	(※1) 34円	34円	38円	43円	60円	(※2) 80円（予想）
配当性向(連結)	28.6%	44.8%	33.9%	41.0%	39.9%	63.7%（予想）



(※1) 創立70周年記念配当4円を含む
 (※2) 創立75周年記念配当20円を含む

中期経営計画数値目標（2021年度～2025年度）

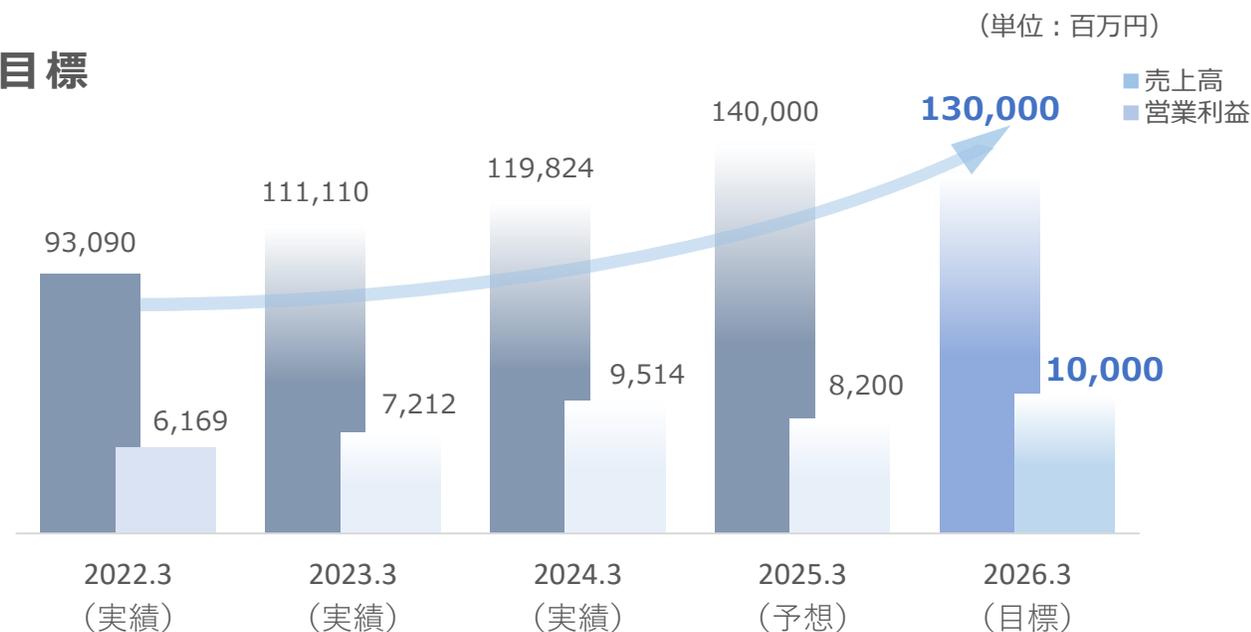
(単位：百万円)

	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3予想	2026.3目標
売上高	93,090	111,110	119,824	140,000	130,000
営業利益	6,169	7,212	9,514	8,200	10,000

中期経営計画最終年度(2026.3)目標

□ 連結売上高 : 1,300億円

□ 連結営業利益 : 100億円



Ⅲ

参考情報

1.連結業績の推移（5年分）並びに計画

(単位：百万円)

	2020.12	2021.12	2022.12	2023.12	2024.12	2025.3計画
売上高	71,330	67,946	73,061	90,821	97,109	140,000
(対前期比増減率)	(10.2%)	(▲4.7%)	(7.5%)	(24.3%)	(6.9%)	(16.8%)
営業利益	5,138	3,114	3,382	9,041	3,318	8,200
(対前期比増減率)	(▲4.0%)	(▲39.4%)	(8.6%)	(167.3%)	(▲63.3%)	(▲13.8%)
経常利益	5,231	3,148	3,448	9,155	3,374	8,200
(対前期比増減率)	(▲3.9%)	(▲39.8%)	(9.5%)	(165.5%)	(▲63.1%)	(▲14.5%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,515	2,736	2,316	6,258	2,318	5,400
(対前期比増減率)	(▲3.5%)	(▲22.2%)	(▲15.3%)	(170.2%)	(▲62.9%)	(▲16.4%)

□ <ご参考>

連結初年度
過去最高値

1991年3月期

◎売上高

2025年3月期第3四半期 97,109百万円

【ご参考】前期までの過去最高値 2024年3月期第3四半期 90,821百万円

◎営業利益

2024年3月期第3四半期 9,041百万円

◎経常利益

2024年3月期第3四半期 9,155百万円

◎親会社株主に帰属する
四半期純利益

2024年3月期第3四半期 6,258百万円

2.連結子会社の状況（2024年12月31日現在）

名称	住所	資本金 (百万円)	決算期	事業内容	四半期の 業績 売上高 (百万円)
矢作地所(株)	名古屋市東区	800	3月	分譲マンション事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産流通事業	6,948
矢作ビル&ライフ(株)	名古屋市東区	400	3月	マンション・ビル管理事業、建築事業	3,458
ヤハギ緑化(株)	名古屋市東区	100	3月	緑化事業、ゴルフ場コース管理事業	2,365
(株)テクノサポート	名古屋市東区	50	3月	パンウォール（補強土壁工法）事業、ピタコラム（外付耐震補強工法）事業、建設工事、技術開発、試験体製作	972
ヤハギ道路(株)	愛知県豊田市	300	3月	舗装事業、土木事業、アスファルト合材製造販売事業、リサイクル事業	5,269
南信高森開発(株)	長野県下伊那郡 高森町	50	3月	ゴルフ場経営（高森カントリークラブ）	293
北和建設(株)	京都市下京区	85	3月	建築事業	5,126
南知多未来 パートナーズ(株)	愛知県知多郡 南知多町	30	3月	師崎港観光センター周辺整備運営事業	39

(注) 1.矢作地所(株)、矢作ビル&ライフ(株)、ヤハギ緑化(株)、(株)テクノサポート、ヤハギ道路(株)、南信高森開発(株)、北和建設(株)の7社は、全て矢作建設工業(株)の100%子会社である（南信高森開発(株)については、間接所有分が69%である）。
2.南知多未来パートナーズ(株)は、議決権の66.7%を間接所有する矢作建設工業(株)の子会社である。

3.受注高、売上高、次期繰越高（連結）

（単位：百万円）

区分		受注高				売上高				次期繰越高				
		2023.12 実績	2024.12 実績	前期比		2023.12 実績	2024.12 実績	前期比		2023.12 実績	2024.12 実績	前期比		
				増減額	増減率			増減額	増減率			増減額	増減率	
工事	建築	官庁	0	406	405	—	0	1,760	1,760	—	28	277	249	878.4%
		民間	66,421	63,515	▲ 2,906	▲4.4%	46,833	61,777	14,943	31.9%	86,189	103,277	17,087	19.8%
	計		66,422	63,921	▲ 2,500	▲3.8%	46,833	63,538	16,704	35.7%	86,218	103,554	17,336	20.1%
	土木	官庁	7,363	9,452	2,089	28.4%	8,693	9,050	356	4.1%	11,534	18,549	7,014	60.8%
		民間	10,382	20,476	10,094	97.2%	13,448	13,499	51	0.4%	16,880	23,835	6,954	41.2%
	計		17,745	29,929	12,184	68.7%	22,142	22,550	407	1.8%	28,415	42,385	13,969	49.2%
	官庁	民間	7,363	9,858	2,495	33.9%	8,693	10,811	2,117	24.4%	11,563	18,827	7,263	62.8%
		民間	76,804	83,992	7,187	9.4%	60,282	75,277	14,994	24.9%	103,070	127,112	24,041	23.3%
	合計		84,167	93,850	9,683	11.5%	68,976	86,088	17,112	24.8%	114,634	145,939	31,305	27.3%
	不動産事業等						21,845	11,020	▲ 10,824	▲49.6%				
合計						90,821	97,109	6,287	6.9%					

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。